

# 行政改革の重要課題事業一覧【第1弾】

## 受益者負担の割合の見直し

H29度試算

No	事業名	収支の概要と課題	1人当りの 支出額 A=C/B	利用者数 B	支出 C	収入
1	Nーバスの運行	<p>無料の対象者が多く(78.6%)、適切な受益者負担とはなっていない</p> <p>支出(H29) バス運行費 120,758,000円 (利用者1人当たり 461円)</p> <p>収入(H29) 運賃(@100円) 5,618,100円 補助金(国) 4,733,000円 運休分 44,080円 計 10,395,180円</p> <p>運賃割合(4.7%) 運賃(5,618,100円)/支出総額(120,758千円)</p> <p>見直しの例 乗車全員を有料化した場合の運賃割合 262,000人×100円 = 26,200,000円(21.7%) 262,000人×200円 = 52,400,000円(43.4%)</p>	461円	262,000人	120,758,000円	10,395,180円

**行政改革の重要課題 事業名**

**Nーバスの運行**

**【行政改革指針の重点課題項目】**

- ・1 経営改革の推進
  - (1) 受益者負担の適正化

**取組の内容**

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
①利用実態調査の実施、方針決定	②地域公共交通会議での協議	③料金改定(受益者負担の見直し)の実施		
① 利用実態調査の実施、方針決定	利用実態調査を実施し、現状を分析する。また、Nータクの実証実験を行った結果を分析する。これらの結果を踏まえた方針決定を行う。			
② 地域公共交通会議での協議	料金改定を前提とし、ルートの再編とあわせて協議を行う。また、Nータクや他の交通機関との調整、すみ分けを明確化する。			
③ 料金改定(受益者負担の見直し)の実施	ルートの再編とあわせて、料金改定(受益者負担の見直し)を実施する。			
※ その他	料金改定を前提に事務を進めること。 料金改定にあたっては、「使用料及び手数料の適正化に関する方針(案)」を参考に料金設定すること。			